

# 【特別書面インタビュー】大槌ゆかりの方に伺う 『今後の10年へ向けてコロナ禍を乗り越えるために』



ミュージシャン  
underpath! (アンダーパス!)  
ミカ  
MIKAさん

## 生まれ育った町、大槌町 私の全ての原点。

<underpath! MIKAさん 略歴>

音楽ユニット「underpath!」のメンバーとして岩手を拠点に活動。  
2005年、NHK総合「熱唱オンエアバトル」に出演し年間最高得点保持。チャンピオン大会で3位を獲得しCDデビュー。NHK盛岡「いわてみんなのうた」に書き下ろした「たらしら」の大ヒットでファン層が大きく広がる。  
現在は、テレビ出演、ラジオパーソナリティーとしても活躍する他、育成事業にも携わり、岩手のエンタメシーンを盛り上げている。三陸♥おおつちPR大使。

**国内で新型コロナウイルスの感染が広がりはじめて1年が過ぎます。この1年はどんな日々でしたか？**

今まで多くの皆さんとの出会いの場であったイベントでのパフォーマンスがほぼ無くなり、自分たちのおかれる業界は大きな打撃を受け、厳しい1年でした。

ただ、私たちアンダーパス！は、2019年よりYouTubeでの活動を開始する準備をしておりましたので、昨年はいよいよ始動した新しい仕事に熱中する1年でもありました。

**こうしたときに大事にしていること、大事だと思っていることは何ですか？**

節目というものはいろいろな事柄に必ずあるもので、今がその節目なのだと思います。ひとりひとりが冷静に出来る事を行うことが大事だと思います。

**コロナ禍でのエンターテインメント、観光、文化芸術のあり方とは？**

東日本大震災の時、「自分の仕事など今必要無いのでは」と考えてしまう時期もありましたですが、歌で沢山の方と繋がりが、今もこの仕事を続けています。この経験を経て、今、エンターテインメントは無くなるものではないのだと確信しています。

人生において、心の余裕こそが健やかに生きる上で必要なもので、どれだけ形を変えてもエンターテインメントは「必ずそこにあるもの」なのではないかと思っています。

大槌町は、伝統芸能をしっかり伝承している地域でもあります。

伝統芸能の多くは信仰に基づくもので、継承者・演者はもちろんの事、それを支える人々、そしてそこに集う観客も「見えない何か」とのつながりを深く感じ、心の中の不安はもろろん未来への希望も委ねる事が出来る特別なものだと思います。このような無形文化財はこれからの観光産業でも大きく力を発揮していくものだと感じています。

**大槌町との思い出や関係のきっかけを教えてください。**

生まれ育った町、大槌町。  
私の父は、仕事の合間にいろいろな景色を見せてくれました。

新山でつづじを見た。小鎧では山の奥の滝まで車を降りて溪谷を歩いたり、大きな岩をひまくりかえして虫を探したりした。赤浜の岬の展望台では冒険気分も味わった。釣具屋を営んでいたで、モーターボートでリアス式海岸をなぞってみたり、海の上から町を眺めたりした。

そんな父が見せてくれた景色で一番印象に残っているのは、土坂峠で深い山々の間からほんの少しだけ海が見える景色。「なんで?」「不思議」「そうなんだ」「すごいな」を深緑の中央マイナスイオンに包まれて全てを吸収した。

大人になって、世界は広いと知った。  
でも子供の頃の私は、あんなに小さな大槌町という町を、一度も狭いと感じたことは無かった。

だから、私の全ての原点は、父が見せてくれた大槌の景色なのだと思います。  
子供の頃みた景色は、色鮮やかに頭の中に残っています。

**大槌町ではふるさと納税や、通信販売サイト「大槌孫八郎商店」で、町特産品のPRに務めています。大槌の特産品と言えは？**

まず先に、ちょっと話が脱線しますが、「大槌孫八郎商店」というECサイト名！これを見た時、「誰これつけたの！天才!」って思いました！ サイトのロゴデザイナーも秀逸！  
今の新巻鮭は塩分が控えめで、食べやすく加工してあり、とても良いですよ！  
思いとしては、保存食をまさに「骨の髄まで食べつくす」。

ひずなますとか「そんなところも食べるのか!」って思うし、しょっぱ過ぎる所もいろいろな食べ方があったな。

飽食の時代で、保存技術、流通も発達した中で、消えて行ったものも多くあると思いますが、そんな思いを懐かしむ人もいるかもしれせんね。現在住んでいる方と、離れて懐かしむ人では、求めるものが違うかもしれせんしね！  
これからの特産品は、付加価値をどのように売っていくかがひとつのポイントになると思うので、大槌ファンを増やせるように、いろいろ紹介して行きたいと思います！

**今後、三陸♥おおつちPR大使として大槌町で、あるいは大槌町民と一緒に挑戦してみたいことは？**

楽しい事やってみたいです！  
今年度は東京オリンピックの聖火リレーに町の推薦で参加させて頂きました。  
購入したトーチは大槌町に寄贈する予定ですが、展示する前に大槌の子供達とオリンピックトーチでリレーをしてみたいです！

**本年の活動予定を教えてください。**

YouTube、配信を開始してやっと1年経ちましたので、引き続きいろいろな発信をして行きたいと思っています！  
また4年目になりました、キッズヒップホップダンススクール・スタジオアンダーパス！でも子供達と一緒に楽しく成長して行きたいと思っています！  
<https://www.youtube.com/channel/UCGCCJSGn0x1M6HX0ITKwg>  
<https://www.studio-underpath.club/>

**大槌町民へメッセージをお願いします。**

「地元愛」  
地元にいる人は日常的。離れた人は思い出。愛し方は違ってもありませんが、同じ「地元愛」。地元を離れた私は、震災直後、無い目を感じて、自分の中の地元愛のやり場を無くしていました。

そんな時「三陸♥おおつちPR大使」のお話を頂き、救われた気持ちでした。  
何より、同じ年頃の皆さんが推選して下さいました。大槌町民だと認めてもらっているのだと嬉しく思いました。父や母のおかげで先輩方にも愛され、子供達からは友達のように慕ってもらっています。

「細い路地の先のたこ焼き屋のばあさんの孫」として、「釣具店はとやの娘」として、そして「アンダーパス!のMIKA」として、これからも楽しみながら、大槌のPRを行っていきたいと思います！  
よろしくお祈りします！

(令和3年6月12日書面にてインタビュー)  
企画・編集 大槌町産業振興課商工観光班  
編集協力 (一社) 大槌町観光交流協会